



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

大津赤十字志賀病院

志賀日赤だより

◎ 第39号 ◎

発行：令和2年10月

大津赤十字志賀病院

〒520-0580 大津市和邇中298

TEL：077-594-8777

予約専用：077-594-8440

FAX：077-594-8778

食中毒の盛りは過ぎましたが。。。。



内科部長 **うえだ ゆたか**
植田 豊

おおよその傾向では、食中毒は寒い時期に少なく、4月、5月と暖かくなるにつれて多くなり、7月から9月にかけての夏場に最盛期を迎えるといわれています。しかし、食中毒は一年を通じて発生する可能性が常にあり、最盛期は少し過ぎましたが、今回は我が国で頻度の多い食中毒について述べてみたいと思いますので、参考にしてください。

食中毒の王様「ノロウイルス」

日本で最も多い食中毒の原因はノロウイルスです。他の食中毒に比べて圧倒的に多いです。時期的には冬から春にかけて多いですが、実は年中起こる可能性があります。真牡蠣なら1月～3月、アサリなら2月～3月と9月～10月、岩牡蠣なら7月～9月と、一年中通して起こりえます。これらの汚染された食材を摂取してから大体半日～2日して吐き気・嘔吐、下痢が出現します。大体の人が3日ほ

どで回復しますが、ノロウイルスは感染力が極めて強く、罹患している人の吐物や糞便にまじっているノロウイルスは容易に空気中に漂い感染してしまいますので注意してください。これら汚物を処理・掃除するときはマスク、手袋を着用してください。アルコール消毒は効きませんので、次亜塩素酸(塩素系漂白剤)を使って消毒しましょう。水500mlに対して、家庭用塩素系漂白剤をペットボトルのフタに2杯いれると、ちょうどよい濃度の消毒剤が簡単に作れます。

地獄の苦しみ「カンピロバクター」

カンピロバクターはほとんどの動物にくっついていて細菌ですが、特に鳥類に多くみられます。牛の保菌率は30%程度ですが、鶏の保菌率は最大で90%との報告もあります。しかも100個程度のきわめて少ない菌数で食中毒となり、その症状は強く、日に何十回もトイレへ駆け込み、腹痛もきつく、この苦しみが1日～3日程度続きますので、しばらくは二度と鶏肉を食べたくないと思う人も多いとか。食鳥処理施設におけるカット鶏肉のカンピロバクター汚染率は60%以上にも上るため、鶏肉をみればまずカンピロバクターがくっついていてと考えて調理した方がよいでしょう。加熱処理すればまず大丈夫ですが、鶏レバーや鶏の刺身、鶏のたたきなどの半生製品を食べるときはそれなりの覚悟が必要です。

時期的には春から夏にかけて多いです。潜伏期は1日～7日と比較的長いため、原因を探るときは1週間ほど前に鶏肉(特に加熱処理のうすいもの)を摂取していないか記憶を辿る必要があります。

…だけじゃない「サルモネラ」

サルモネラ食中毒の原因として卵が有名です。日本では十分洗浄した鶏卵が出荷されるので生卵を食べてもそうそう食中毒にはなりません、それでも卵500個に1個はサルモネラ菌で汚染されているというデータがあり、注意が必要です。諸外国に至っては日本ほど厳重に管理されていないためそもそも生で鶏卵をたべる習慣がなく、卵かけご飯をおいしそうに食べる日本人が非常識に映るようです。鶏卵に目がいきがちですが、実は爬虫類に注意が必要なのは意外に知られていません。爬虫類のなんと50～80%はサルモネラ菌を保有しているといわれています。犬猫のみではなく、ヘビ、トカゲ、カメなどをペットとして飼育されている人も多く、特に子供などはいわゆるミドリガメ(正式名称ミシシippアカミミガメ)を飼育する機会も多いと思われ、カメを触った手を無意識に口にもっていく危険性があるので親御さんはぜひ注意してあげてください。潜伏期は半日～3日で、腹痛、吐き気、下痢、嘔吐、発熱が症状として出現します。特に小児では菌血症(細菌が血流によって全身をめぐる状態)から急性脳症にいたることが稀にあり注意が必要です。

紙面の都合上、今回は3種類の菌について触れましたが、トップ5にランク入りする黄色ブドウ球菌とウェルシュ菌についてはまたの機会に述べてみたいと思います。

志賀日赤が開設して18年目となりました。

診療部門も増え、内科（一般・糖尿・内分泌・呼吸器・血液）循環器、総合診療科、外科、整形外科、小児科、救急外来に加え、隔週で弁膜症外来と泌尿器科の診察も始まりました。消化器内科としての診療部は無くなりましたが、上部内視鏡検査や検診部門は継続しています。外科と整形外科手術も行っています。

中央材料室も含め、看護師17名、看護助手1名で、診察部門、内視鏡部門、手術部門を掛け持っています。

外来勤務経験の長い看護師が多く、患者様からの信頼も厚いと感じます。その分、一人一人に寄り添った看護を提供できるように心がける事が必要であり、専門性を深める努力を怠ってはならないと痛感しています。

今年度は更にコロナに関する対応が増え、患者様に、安心して受診して頂けるように、玄関トリアージを実施しているところです。



INFORMATION

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、当院では次のとおり対応していますので、ご理解とご協力をお願いいたします。（令和2年9月1日現在）

健康観察の実施

正面入り口において、診察や面会のために来院する全ての方に **症状の確認、検温、手指消毒、マスク着用の徹底**のご協力をいただいております。

面会の禁止

ご不便をお掛けいたしますが、入院患者さんの感染防止を図るため、ご理解とご協力をお願いいたします。



志賀日赤の健康教室

～中止のお知らせ～



開催日	テーマ	講師	場所
令和2年9月1日(土) 10:00～12:00	食と消化器病	内科部副部長 西村 昌子	和邇文化センター
	入院にかかる費用はどれくらい？ ～知っておきたい医療と介護のお金の話～	医療社会事業係長 小椋 由紀子	和邇文化センター
令和2年9月2日(土) 10:00～12:00	最新の人工股関節置換術	整形外科部長 尾崎 厚志	和邇文化センター
	骨粗鬆症について ～日常生活で気を付けること～	看護師 松田 幸子	和邇文化センター
令和2年9月7日(土) 10:00～12:00	未定	未定	未定

新型コロナウイルス感染拡大の状況を鑑み、参加者の皆様の安全と感染拡大の防止のため、開催を中止させていただくことにいたしました。ご参加を予定されている皆様には多大なるご迷惑をおかけしますこと心より深くお詫び申し上げます。

開催の目途がございましたら当院ホームページにてご案内いたします。

ご案内

診療受付時間

午前 ● 8時30分～11時30分
午後 ● 12時00分～15時00分

※但し、緊急を要する患者さまにつきましては随時受け付けております。

※当院では、紹介状なしで受診された患者さまに対して特別な負担金は徴収していません。

